

投稿規定

- 一、投稿枚数は「立教大学日本文学」のフォーマットに照らして14頁（29行×50行×14頁）以内とします。
- 二、原稿は縦書きを原則とします。横書きによる掲載を希望する場合は、投稿前に必ずご相談ください。
- 三、原稿は完全清書原稿とし、注・引用その他の形式は、既刊のものに準拠してください。場合によっては体裁の統一を図らせていただきます。
- 四、原稿は手書き・ワープロ問わず、コピーを一部添えて、都合二部、お送りください。
- 五、ワープロ原稿で送られる場合は、データ rikkyonhonbungaku_hensyu@kanai.com にお送りください。CD-ROM、USB等での提出も可能ですが、その場合はメディア媒体の返却をいたしませんのでご注意ください。
- 六、査読担当委員は、外部の有識者を含め、会長がこれを委嘱します。
- 七、執筆者校正は論文・書評について初校のみ。ただし加筆訂正は最小限度におねがいします。
- 八、論文執筆者には掲載誌三部・抜刷四〇部を進呈します。
- 九、「立教大学日本文学」は雑誌として刊行すると同時に立教大学のリポジトリにも登録され、掲載原稿の全文をPDF化したうえでオンライン公開します。投稿された原稿については、その旨、ご承諾いただいたものとなります。ただし、論文内に用いられた写真、図版などについては、その部分に限って、原則として電子化の対象から外すこととします。
- 十、原稿のメ切り日は、五月の連休明け最初の月曜日と十一月の秋学期明け最初の月曜日です。

編集後記

△第一・二・三号をお届けします。本号には論文10本、書評1本、新刊紹介4本を掲載することができました。学会員のみさんの研究成果に關しては、たくさんのご著書等があると思いますが、編集部では「献本いただいたものを対象とする」という原則を設けておりますため、紹介したいと思っても出来ないケースが数多くあります。大変恐縮ではありますが、ご著書等が刊行された際は、ぜひとも編集部への献本をお願いいたします。

△前号より、投稿規定を改訂し、本誌のフォーマットで一四頁以内に収めることを原則化しましたが、今号には分量オーバーの投稿が複数あり、書き直しをお願いしました。論文を投稿される方は、くれぐれもご注意ください。

△昨年度は、「立教大学日本文学」のバックナンバーのうち創刊号から第九号までをPDFファイル化する作業を進めました。将来的には、過去の著作者の許諾を得たうえで立教大学リポジトリ（研究成果物の一元管理）「立教ROOTS」に登録し、PCの画面上で自由に閲覧できるようにする環境を整えていきたいと考えています。

*本会への入会申込・会費など、電話によるお問い合わせは、下記のサポートセンターまで。

会費 一年 四〇〇〇円

立教大学日本文学会

振替 〇〇一四〇〇一八―一二三三三三

「書評」欄に関する規定と献本のお願

「立教大学日本文学」は学会員の著作を広く紹介することを目的に、下記の原則にそって「書評」、「新刊紹介」欄を設けています。

一、「書評」、「新刊紹介」については、著作の一冊を立教大学日本文学会に献本いただいたものを対象とする。

一、献本いただいた著作については、原則として「書評」または「新刊紹介」を掲載する。

一、「書評」（執筆は非学会員も含めた有識者）、「新刊紹介」（執筆は大学院生または本学教員）の区別については、編集委員会が適宜判断する。

立教大学日本文学 第一・二・三号

二〇一五年一月二十五日 印刷

二〇一五年一月三十日 発行

編集発行人

立教大学日本文学会

石川 巧

〒171-8501 東京都豊島区西池袋三―三四―一

サポートセンター

電話（〇三）三九八五―二五〇五

印刷

上毛印刷株式会社